

平成30年度 学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校教育目標	「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を図る。 1 興味・関心を高める授業を進め、確かな学力を育成する。 2 自らの進路を切り拓く力を育成する。 3 「命」を大切に作る心、人への思いやりの心を育成する。	
今年度の具体的な重点目標	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断・判定基準あるいは評価指標
1 生徒の学習への興味・関心を高めるよう、授業改善を進めます。 また、確かな学力の定着を図り、進路目標を達成できる力を養成します。	① 習熟度別クラス編成や少人数授業・習熟度別授業を積極的に展開して、より質の高い授業を提供できるよう努力します。 ② 授業改善に全校体制で取り組みます。生徒や教員相互による授業評価等を積極的に行い、教員の授業力向上を図ります。 ③ 週末課題、長期休暇課題などにより、家庭学習と授業の一体化を図ります。また、家庭学習時間調査や定期考査等の結果の分析により学力状況を的確に把握し、学力向上を支援します。	① 授業評価において「自分のレベルにあっている」と評価する生徒が90%以上である。 ② 授業評価において「授業のポイントがわかる」と評価する生徒が90%以上である。 ③ 家庭学習時間調査で、平日学習時間90分以上が60%以上である。
2 生徒が自らの将来像を見据え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育めるよう、進路指導を充実します。	① 生徒が第一志望校に合格できるよう、学力の定着や進路相談活動等の充実を図ります。 ② 総合的な学習の時間を活用して、主体的な進路選択を目指したより効果的な指導計画を作成し、提供します。 ③ キャリア教育を充実させ、望ましい職業観の育成に努めます。 ④ 大学入学共通テストの実施をはじめとする大学入試改革についての情報を的確に提供します。	① 希望に沿った進路指導についての満足度が80%以上である。 ② 総合学習の時間に主体的な取り組みができる。外部評価における満足度が70%以上である。 ③ 生徒の興味・関心が進路講演会（大学講師や社会人講師等）・大学模擬講義等を通して高まり、生徒の肯定的評価が80%以上である。
3 生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、様々な体験を通して地域に貢献する態度や思いやりの心を育めるよう取り組みます。	① 全ての教育活動を通して、基本的な生活習慣やマナーが身に付くよう支援するとともに、情報モラルを理解して実践できる生徒を育てます。 ② 部活動への積極的な参加を促し、心身ともに健全な人間の育成を目指します。 ③ 委員会活動や生徒会活動、学校行事、地域ボランティアなどへの積極的な参加を促し、地域社会の一員としての自覚と自主・自立の精神を養います。	① 服装規律を守っている生徒が90%以上であり、情報モラルを理解している。また、遅刻者数の1日平均が5.0以下である。 ② 部活動加入率が85%以上であり、活動内容の満足度が80%以上である。 ③ 各学校行事における満足度が70%以上である。